

校長室便り

11-1号

～吉野川市人権教育研究大会を開催しました！～

11月13日(木)、本校にて吉野川市人権教育研究大会が開催されました。市内小学校の先生方約100名に1・3・6年生が人権の授業を公開しました。どの子も相手の立場や思い、そしてこれまでの自分の行動について深く考え、その意見をしっかりと発表しました。本授業を通して、子ども達は、自らの思い込みや偏見に気付き、思いやりをもって互いの人権を大切にしていこうと改めて決意しました。授業後の分科会では、本校子ども達の真剣な学習態度、思考力・表現力の高さを、たくさんの参加者に賞賛していただきました。



1年 道徳科 「二わのことり」

〈目標〉

- ・みそざざいの気持ちや行動を通して、友達のためにできることについて考え、友達と仲良く助け合っていこうとする意欲を高める。

3年 学級活動

「病気じゃないんだけどなあ」

〈目標〉

- ・障害のある人もない人も、共に生きていくために必要なことは何かを考え、違いを大切にしていこうとする態度を育てる。

6年 道徳科「汚染一揆」

〈目標〉

- ・差別に立ち向かった人々の思いに共感し、友達と協力しながら自ら進んで行動しようとする意欲を高める。

立場が変わると考え方も変わる！

「一生懸命」という熟語には「一所懸命」という別の漢字があります。植物の立場で、この「一所」の意味を考えると、「一ヵ所で生きる」と言うことです。実際、植物は土の中に根を張り、日光に当たって自ら栄養を作り出すことで、生涯動くことなく過ごします。動物はそんな植物のことを「動くことができないなんてかわいそうだな」と考えがちです。ところが植物は植物で、私たち動物のことを「あくせく動き回らないとえさ（栄養）を摂ることができないなんて本当かわいそうだな」と思っているかもしれません。

まさに「立場が変われば考え方も変わる」です。私たち人間は、ついつい自分の限られた経験や想定から狭い視野の考えに陥りがちです。自分勝手な思い込みから相手のことを決めつけたり、傷つけてしまったりすることがあります。

人権教育とは、多くの人々の多様な考え方を知ることで自分の考えの狭さを理解し、「相手の立場になって考えること」の大切さを学ぶ教育だとも言えます。この学びを確かにものとするため、保護者の皆様から子どもたちをご指導いただけますようよろしくお願いします。